

「祝辞」

公益社団法人日本歯科医師会 会長

高橋 英登



このたびは、公益社団法人日本介護福祉士会が創立30周年を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。

平成6年の創立以来、介護分野の専門的教育や研究の充実、介護福祉士の資質向上、国民の福祉の増進のため、ご尽力されてきた歴代会長ならびに関係者の皆様方に深甚なる敬意を表します。

我が国は本格的な超少子高齢社会を迎え、国民の健康に対する意識はますます高まりつつあります。近年では地域包括ケアシステムの推進や医科歯科連携のほか、介護福祉士を含む専門職との多職種連携が求められており、医療や介護に対するニーズも多様化しています。こうした中、介護福祉士には介護現場におけるリーダーとして高度な知識と専門性が求められており、貴会会員が果たす役割は大変大きなものとなっております。

これまで日本歯科医師会では、歯科医療を通じて国民の健康の維持・増進に貢献するよう努めてまいりました。その中で、特に介護予防やフレイル対策、要介護者の口腔健康管理等に関しては、介護福祉士と歯科医師・歯科衛生士との連携が不可欠であり、互いにその専門性を発揮し、協働することが重要です。

今後、我が国の医療、介護福祉の発展のため、皆様方と先進的な協力関係を構築し、より一層連携強化を図ることができれば幸甚に存じます。

最後に、今後の貴会の益々のご発展と関係者の皆様方のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。